

出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.194



〈サロン・あべの〉7月の出会い

平成14年7月21日(上)〈サロン・あべの〉7月の出会いは、昨年9月にオープンした国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」堺市茶山台1-8-1の見学と親睦会でした。

・施設の概要

「ビッグ・アイ」は、障害者

の一層の社会参加を願って、広い空間を確保したバリアフリー仕様様の宿泊室、車いす席が最大300席設けられる多目的ホールや大小の研修室をはじめ、レストランなど、あらゆる人にとって利用しやすい最新のバリアフリー設備を備えた21世紀のノーマライゼーション・モデル施設です。障害のある方もない方も研修や会議、発表会、コンサート、宿泊に快適な空間として利用できます。

・施設の見学

まず、1階のフロントでパンフレットを配布され、必要な方には車いすの貸し出しもありました。見学には、センター職員の方が付き添い、宿泊室など施設の説明を受けました。

・エレベーター

このエレベーターは、電動車いすが4台乗れるスペースがあります。エレベーターの内外には聴覚障害者のために、手話映像のモニターが設置されており施設案内がされています。手の使えない障害者のためには、足でスイッチが入られるように床に近い位置にブッシュ型スイッチが設けられています、このスイッチを利用した場合には、自動的に各階止まりになります。もちろん視覚障害者には音声での案内や点字表示などもされていました。

・宿泊室

―和室―
室への出入りは鍵ではなく、

カードをかざすだけの自動口ツク。8畳の和室に風呂とトイレが設置され、その出入り口はフラットな床。バリアフリーの基本が整備されています。

—和洋室—

家族との利用を考えると、和室と洋室が横並びに続いており、洋室の車いすやベッドからの目線が同じ高さになるように、和室は40cmほど床面が高くしてあります。また洋室のベッドには、寝たままテレビが観れるように書見台のようなテレビが自由自在に動く腕に支えられて設置されていました。

部屋全体の色調は目の不自由な人に配慮して濃淡の配色にしてあり、ゆったりくつろげる空間となっています。風呂場やトイレも家族や介助者と一緒に利用できるように十分な

スペースが確保されています。

—重度障害者対応の洋室—
室の天井に走行リフトや介助コイルが設置されていました。

浴室は広く、車いすでも楽々移動できるのももちろん、浴槽も家族や介助者と一緒に入れる大きさで、三方から出入りできるようになっています。



最新のバリアフリー設備で安心と安全の工夫が盛りだくさん整備されていました。

その他に聴覚障害者には振動によるお知らせ用具が貸し出されます。これは、何かあったとき、体に振動が伝わるようになっていきます。

手足の使えない人のためには特別仕様のトイレ設備もありました。

廊下の両側の壁には部屋番号や案内の点字が付いた手すりがあり、また、廊下は、中央部分が車いすが動きやすいフローリングにしてあり、壁面から50cm幅ほどの床面はカーペット敷きになっていて、足の触感の違いで視覚障害者の歩行にもやさしい廊下となっています。これは、車いす利用者は点字ブロックの振動を受けないように、そして足の不自由な人が点字ブロックに躓かないように、との配慮から工夫されたものだそうです。

「この施設に初めてきた。ゆとりのある空間がある」
「今度は、実際に宿泊してみたい」
「建物は立派でまたここを利用するため、イベントなどの情報に気をつけておきたい」
などなど。

宿泊室を見学後、自然素材にこだわった健康メニューのレストランで各自お好みの食事や飲み物をオーダーして、しばし談笑。

そして、参加の方々に「ビッグ・アイ」のご感想を聞きました・・・

「7月の出会いでした。」

参加者13名(山村貴司)

誰でも参加できる場所へ

第3回

ニューヨークの コミュニティガーデン

林 典生

今回はアメリカ東海岸の都市でコミュニティガーデンが盛んな地域として、ニューヨークを紹介します。私自身は海外に行つたことすらないが、最近のIT社会化により、アメリカの様々な情報が自宅にいながら見ることができると。

その中でニューヨーク州上院議会が提出した報告書がインターネットの中で見つけて、読んでいるうちに面白くなり、数十ページもある報告書をあつという間に印刷したのであった。

内容は1970年代の公民権運動が高まる

中で、地域住民の手による街づくり運動が起き、市公園局に働きかけた結果、地域住民による管理が認められ、公園局の認可マークである「若葉マーク」と「緑の指」の看板が掲げられるニューヨークのコミュニティガーデンの始まりであった。

その結果、地域の緑化活動を通じて地域社会の形成がなされており、ニューヨーク市公園管理局や教育委員会及び住宅保全開発公社が所有する中で非営利団体（例えば「グリーンゲリラ」）によって運営・技術指導が行われている。

しかし、アメリカ合衆国での景気が良くなり、1997年から所有権が市に移り、1999年からコミュニティガーデンが市民の意向に反し、競売にかけられたのであった。

ニューヨークタイムズ等のマスコミがこの売却のことについて大々的に報じていくとともに、競売の中で女優テッド・ミラーがコミュニティガーデン保存運動の中で買い取つたりするなどの行動があつたものの、多くのコミュニティガーデンが売却されたのであった。

その中であるニューヨーク州議員がコミ

ュニティガーデン存続のために先ほどの調査が行われたのである。

1997年にニューヨークにある738件のコミュニティガーデン（これは市より土地を借り受けてコミュニティガーデンの数であり、そのうち100件がスクールガーデンである。日本では公園を借り受けて行うという話はあまり聴いたことが無い。）を対象にアンケート調査を行い、そのうち229件の回答が寄せられたのである。

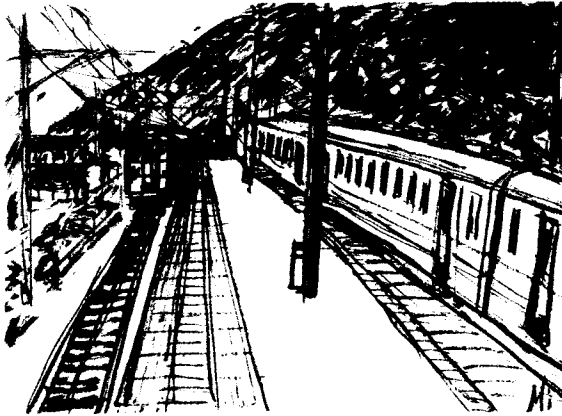
特に、コミュニティガーデンの活動が単に園芸に限らず、他の趣味を行っていたり、人と話をしたり、さらにはオペラや瞑想をするといったいわば「サロン」を形成しているのである。

つまり、コミュニティガーデンは単に園芸活動を行う場ではなく、異世代間交流や多民族・文化のニューヨーク社会の中でテーマを通じた人間との出会いの場であることを示している。

次回はアメリカ東海岸でコミュニティガーデンが盛んな都市であるサンフランシスコの紹介をいたしますので、お楽しみにしてください。

★夢の話

とてもはつきり覚えていることなのだ
が、二十年以上前のこと、私は新聞配達
をしていた。ある朝、ふと気がつくと、私
は走っていた。いま私は何をしているの
だろうと思った。立ち止まって自分の服
装を見ると、新聞配達の途中らしい。し
かし新聞配達なら手に新聞をもっている



はずである。ところが手には何も無い。
配ったのかどうか、その記憶がない。

仕方が無いので、近くの家を回って見
る。自分が配ったかどうか確かめるため
である。いくつかは配られていた。しか
し、何軒かの家には新聞はなかった。勢
いをつけて入れたから、ドアの向こう側
に落ちているのかもしれない。あるいは、
もう家の人が新聞を抜きとったのかもし
れない。

結局、ためらいながらも、またそのあ
たり一帯にもう一度、新聞を入れた。新
聞屋は新聞が濡れたり、破れたりしたと
きのために余分にいくらか新聞をもつて
いるものだから、私にはそのとき余分に
配るだけの部数があったのである。

このことが今でも忘れられないのは、
突然、自分が何をしていたのか本当にわ
からなくなったという瞬間を体験したか
らである。ちょうど、いままで何かの夢
を見ていたのだが、目が覚めてみると何

の夢だったのか思い出せないのと似てい
る。

同じような体験は小さいことなら日常
的にあるだろう。立ち上がって、何かを
取りにいこうとする。すると電話が鳴つ
たり、あるいは誰かから声をかけられ
たりすると、そのあと自分が何を取りに
いこうとしたのか思い出せない。また、こ
れを話そうと考えていたのに、相手から
何か質問されると、自分が話したかった
ことが何なのかを忘れてしまうという体
験である。

これは自分が何を考えているのか、何
をしようとしているのか、自分で意識し
ていないからだ。つまり、私たちは無意
識のままに多くのことをしている。今
朝、眠りから覚めて、ふとんから立ち上
がるときに最初に右足で立ったのか、そ
れとも左足で立ったのか、それとも両足
をそろえていたのかは覚えていない。朝
食の際、最初に口にしたのは何だった

音訊テープのご案内

音訊グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第193号の録音テープが出来ました。

■朗読テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第193号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄・著＝糸でんわ音訊)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訊)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訊)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訊)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訊)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訊)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ほけっと音訊)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訊)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訊)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訊)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訊)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訊)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訊)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

の かも覚えていない。いや、それどころか、朝、新聞を読んでいる、しばらくして何を讀んだかと聞かれても答えられないことがある。これもまた習慣的に目を通しているだけであって、自分で何を讀んでいるのかを考えていなかったのである。

夢を見たときに夢を思い出せないのは、夢のなかで自分が何をしているのか、何を考えているのかを意識してないからだとという説がある。逆に言えば、夢のなかで自分のことを意識すれば夢はもつとはつきりと思いつける。そして夢のなかで自分のことを意識するとは、夢をみながら、これは夢であると自覚することにつながるという。

しかし、夢のなかで自分が夢を見ていると気づくのはかなり難しい。そして、それが難しいのは、私たちが普段から自分を意識しないで生活しているからだといふのである。つまり目覚めているときの習慣は、夢を見ているときにも続いているのである。

(知)

Nさん

自選ヘルパーのNさんに月水、金の週三回、私の身の回りの世話や入浴介助に来てもらっている。

Nさんは三十路を迎えた独身女性である。独り身で自由が利くので、本来なら毎日でも来てほしいのだが、彼女にも事情がありこちらの思うようにはなかなかいかない。

ところであついで先日のこと。Nさんはいつものように仕事を終えて帰るために玄関を出た。するとNさんと入れちがいに男の人がやって来たので妻が応対に出た。その時、男の人の人相がよっぽど悪かったのか、それとも様子がおかしかったのか、Nさんは帰らずに何軒かの家の周囲を回って来て、また我が家の前までもどってきてくれた。そうする

晴れのち晴れ

④7

稲垣 恵雄

と玄関の中から「どうもありがとうございますございました」という妻のはずんだ声が聞こえたので、これなら大丈夫だと思つてそのまま帰って行つた。

最近では殺人や強盗などの凶悪な事件が多発しているのでも、誰しも安心して生活できないのではない。殊に私たち身障者夫婦が二人だけで住んでいると、どんなことが起こつても抵抗できないので困つたものだ。

それだけに後日、Nさんからこの話を聞いて妻も私もうれしくて胸のあつくなるのを覚えたのである。そしてまたNさんは私の身の回りの世話や入浴介助だけでなく、こうしたところにも目を向け、気にかけてくれているということを知つて、名実ともにすばらしい自選ヘルパーだと思つた。

感謝

カンパ・はがき・お菓子・バザー用品のご寄贈、サロングッズのお買い上げなど、ありがとうございます。

安達尚子、蔵田 均、小西京子、
神城昭子、小西京子、高尾澄男、
竹下秀樹、竹村定子、田村昌子、
出口正敏、手島八重子、中田久美子、
仲田孝史、難波りんご、松田峰子、
松本克代、松村順子、村松育子、
柳生幸子、山根匡子、吉原和郎、
芳村和子、その他



植物あれこれ 第四十三回

山口康二郎

トマトが赤くなると医者が青くなる

連日三六度を越す暑さ、聞くところによると、猛暑を通り越して、炎暑といわれているここ数日です。月に一回知的障害の方たちといつしよに岸和田まで陶芸教室に行った日も、朝からかんかん照りで、冷房の利いた部屋も十数人の人いき



れでお手上げ状態で、みんな汗びっしょりになりながらの奮闘でした。

名作品？を作り終えたところで、おやつに冷たいトマトが出ました。

「ウワー！ うまそう、いただきます」
左右から手が出て、たちまちなくなっただけと思いきや、一つポツンと残っていました。

「遠慮してはるのは誰？」の質問に、Aさんが「ぼく、トマトが苦手なんです」
そういえば、トマトが苦手な人は案外多い。あの独特の匂いや、口に入れた感じがいやという。

トマトは南アメリカのペルー、エクワドル、ポリビア辺りが原産地で、コロンの新大陸発見後、十六世紀にヨーロッパに広まったのです。しかし、最初は観賞用に植えられ、食用として栽培されたのはずーっと後になってからだといわ

れています。

日本には、江戸中期一七〇八年に入ってきて、「赤茄子」などと呼ばれ、あくまで観賞用で、トマトと呼ぶようになったのは昭和になってから。そして日本でトマトが食用になったのは関東大震災後で、輸入されて二〇〇年もかかったことになりました。やはり独特の匂いが敬遠されたのかも。

とはいえ、トマトにはビタミンA、C、ミネラル、クエン酸、リンゴ酸などを豊富に含んでおり夏の暑さに消耗する身体を守ってくれ、健康にしてくれる食物であるということで医者は青くなるというわけ。

ヨーロッパにも、「トマトを作る家に胃病なし」という言葉があると聞きました。トマトをもっとも古く食用にしたのはインカの人たちといわれ、アンデスの高地では空気が薄いので、身体の酸素がよく働くために必要なビタミンEの多いトマトを栽培して食べていたとは驚きです。

美智子のこんな話

岸田美智子

映画「ナシヨナル7」を観て

七月十四日の朝日新聞でデカデカと取り上げられていた、重度障害者の性をテーマにした「ナシヨナル7」を観に行ってきました。

映画館の場所は梅田のロフトの地下二階にあるテアトル梅田でした。私は外出はよくするので、梅田というところにはあまり行かないというか、いつも地下鉄で乗り換えて素通りすることが多く、地上に出てウロウロしたことがほとんどなかったのです。そんな私ですから、ロフトの名前はよく聞いていましたが中に入るのは初めてで

したし、梅田コマ劇場やかつば横丁などなど：みんな初めてで、いちいちワァーワァーと反応してしまい、同行した介助者が恥かしかつていました。きつとどこか田舎から来たか、施設から久しぶりに出てきた障害者だと周りからは思われていたと思います。梅田もたまにはいいもんだ、と、この日は映画を観る前にいろいろ感動してしまいました。

本題の映画についてですが、簡単にあらすじを書くと、フランスの療護施設日本語でいうところなるのかなのが舞台で、筋ジスの男性障害者が主人公。この障害者がまた悪態障害者の職員泣かせで、性的な要求をストレートに職員にもぶつけていくのです。糖尿病も持っていてインシュリンの注射などの介助も必要な男性障害者なのですがセックスをやらせろとハンストまでして命がけで訴え、本当に意識がなくなり危ない状態になったりします。この彼の要求に施設の職員は施設長を含めた職員会議を開き、法的な処罰を受けないようにどのようなに配慮していくかを考えていきます。その結果、担当の女性職員がこの男性障害者の要求どおりグラマーな売春婦を捜してきてその場所まで介助して実現していくお話

です。実話に基づいたストーリーで難しいテーマですが、淡々としていて少しコメディっぽく笑える場面もありました。

私の感想としては、あらずじ的には面白くないなあというか、期待はずれのような気がしましたが、この舞台の設定が療護施設の中であることや、障害者が多く出演しているのですが、日本のように健常者が障害者のフリをして演じたりすることもなく、障害者の演技がうまいなあと感動しました。女性障害者も重度の方が出てこられるのですが、障害のため言葉もなく、文字盤でセリフをこなしていましたが、とてもチャーミングで美しい方だなあと感じました。あらずじの設定についてはいろいろな問題や意見があるところですが、今の日本ではまだこのような映画は作れないだろうなああと改めて考えさせられました。

観られた方がありましたら、また意見など教えていただけたらうれしいです。

○自立生活支援センター

ーまいどーMYD(岸田)

大阪市住吉区長居西一―九―十二

TEL・FAX〇六―六六〇九―三三二一〇

E-mail=cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」9月の出会い

日 時:9月7日(土)午前11時30分~4時
場 所:淀川区民センター グラウンド
「サロン淀川」たこ焼きコーナー
大阪市淀川区野崎南2-1-5

内 容:夏たこ焼き
会 費:なし

問 合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900

■「サロン・ひらの」9月の出会い

日 時:9月28日(土)午後1時30分~4時
場 所:にこにこセンター(大阪市平野区平野東2-1-30)
内 容:内容未定

参加費:1人100円

問 合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー
大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」9月の出会い

日 時:9月14日(土)午後1時30分~4時
場 所:西区ボランティア・ビューロー室
大阪市西成区新町4-5-14 6階(西成役所隣)
地下鉄=西長堀駅4-A号出からすぐ
市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

内 容:みんなで頭の体操をしよう!
なぞなぞ・クイズ・雑学などいろいろ

会 費:なし
問 合わせ先:宮脇 ☎06-4394-5353

■「サロン・にしよど」9月の出会い

日 時:9月28日(土)午後1時30分~3時30分
場 所:区在宅サービスセンター「ふくふく」
大阪市西淀川区千舟2-7-7

内 容:未定
会 費:なし

問 合わせ先:ボランティアビューロー内
☎06-6478-2941

■「サロンいんみ」9月の出会い

日 時:9月21日(土)午後2時~3時
場 所:伸幸苑 伊丹市寺本町6-150
内 容:ハーブで作るリース(輪飾り)

会 費:なし
問 合わせ先:砂脇 ☎0727-84-0057(午後7時以降)

■「ウイズ東淀川」9月の出会い

日 時:9月8日(日)午後1時30分~4時
場 所:東淀川区民会館
大阪市東淀川区東淀路1-4-53 ☎06-6379-0700

内 容:絵本と私

講 師:吉信信子氏(児童文学作家・脳性マヒ障害者)

会 費:なし

問 合わせ先:鈴木昭二 ☎06-6340-3082
FAX06-6340-3012

お知らせ

＜サロン・あべの＞9月の出会い

日 時…9月21日(土)午後1時~4時
場 所…育徳コミュニティーセンター2階
研修室(スロープ・車いすトイレ有)
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
TEL 06-6621-1901
最寄り駅=

- ・地下鉄御堂筋線「西田辺」
- ・赤バス「育徳会館」

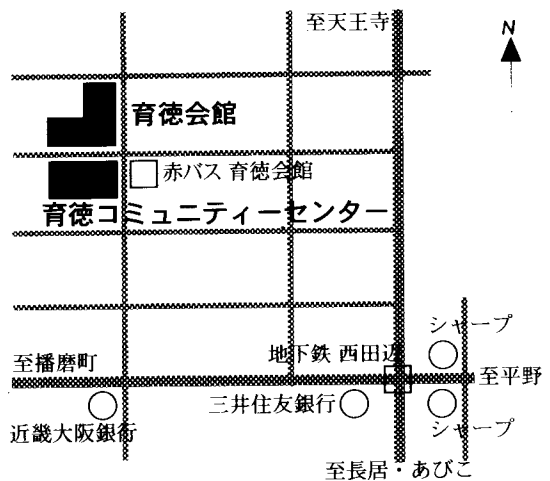
内 容…ハーモニカとマンドリン&
ギターの調べにのせて・・・

演 奏 者…宇根山義弘氏(ハーモニカ)
スイートポテト

- 佐藤隆雄氏(ギター)
- 佐藤里美氏(マンドリン)

会 費…なし

問 合わせ先…
TEL06-6691-1028(富田慶子)



ききみみずきん

アロハ

朝のテレビドラマで、ハワイ生まれの主人公が中学校で教え子にフラダンスを教える場面がありました。本物を間近で見る機会はなかなかありません。ところが先日、デイサービスを受けている人たちに夏祭りの楽しさを味わってもらえるようにと、そのセンター内の研修室に丸提灯など飾り付けられた模擬縁日が催されました。その中でメインの出し物がボランテニアによる「フラダンス」でした。その日、偶然居合わせた私はお年寄りの方々の横でその「フラダンス」を見せていただくことができました。ハワイから取り寄せられた衣装にレイや頭飾り、手足には木の実の輪飾りを付けて本格的な踊りでした。何曲か続けて踊る姿は

にこやかな笑顔で、滑るような足の運びと流れる手の動きはよどみなく、見ているだけで笑顔がこぼれてきて幸せな気分になってくれました。ハワイアンの調べは誰にでもやさしく語りかけてくれるような気がしました。夏休みのボランテニア参加をしていた中学生の方々も後方で見よう見まねで踊っていました。若さで魅せるフラダンスもまた可愛くよいものでした。フラダンスを習っておられる方からは、他のスポーツより無理なく運動ができてよいと伺いました。夏だけのものではなく、一年を通して機会あるごとに「アロハ」とボランテニア活動と健康保持にいそしまれる一石二鳥のダンスだと思いました。

(け)

FROM EDITOR

編集後記

品切れで、しばらくご迷惑をおかけしていましたが「絵はがき・わがまち阿倍野」の増刷が出来上がってきました。サロングッズは、ほかに、一筆箋、花の絵はがき、阿倍野名所旧跡いろはがるた、などがありますが、いずれもみなさんにかわいがっていただいて、ロングセラー・ベストセラーを続けております。これからもよろしく願います。(石)

<サロン・あべの> Vol.194 発行：平成14(2002)年8月17日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方 <サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2階 TEL 06-6719-8212